

令和5年3月29日 佐藤

～ 館内の大規模修繕工事による約7カ月の閉館期間を経て、再開館 ～

## すみだ郷土文化資料館が本日再オープン、合わせて企画展も開催

すみだ郷土文化資料館は、令和4年9月から、施設の大規模修繕工事のため閉館していましたが、本日3月29日より再オープンし、企画展「すみだの歳時記 - 春から夏へ - 」および特集展示「すみだの和歌と漢詩」を開催しています。

工事では、主に老朽化した配管や空調設備、照明などの更新を行いました。この度の再オープンに際して、一部外観や内装などもリニューアルしています。バルコニーや入口横の外壁には浮世絵をモチーフにした装飾画やバナーなどを配し、地域の歴史や文化を感じられるような外観としました。また、入口付近には、開催中の展示などを紹介する大型のサイネージを設置したほか、館内エントランスにも大型モニターを設置し展示資料を画像で紹介しています。今後は動画を流すなど、展示の一つとしても楽しんでいただけるようにします。内装では、天井照明をLED化し、館内も明るく生まれ変わりました。

今回の再オープンに合わせて、区内にキャンパスを構える千葉大学デザイン・リサーチ・インスティテュート（dri）と連携し、外壁の装飾画のほか同館の新たなロゴマークを作成、また1階常設展示室内に設置されている展示パネル（時代区分ごとの説明パネル）の色や形、使用するフォントを、より見やすいデザインに更新しました。

再オープンにあたり、企画展も開始しています。企画展「すみだの歳時記 - 春から夏へ - 」では、館蔵の浮世絵や寺社資料などの文化財を通して、江戸・東京の春から夏にかけての行事や祭礼を紹介。さらに特集展示「すみだの和歌と漢詩」では、墨田区の歌の歴史が、在原業平が平安時代前期に隅田川で京を偲ぶ一首を作ったことに始まるということから、「隅田川」にちなんだ和歌と漢詩を紹介しています。

区の担当職員は、「約7カ月間の工事を経て、装いを新たにした郷土文化資料館にぜひお越しいただき、すみだの歴史を少しでも身近に感じていただきたいと思います。」と話しています。

### 《施設概要》すみだ郷土文化資料館



所在地：墨田区向島2-3-5

アクセス：東武伊勢崎線「とうきょうスカイツリー」駅から徒歩7分

都営地下鉄浅草線「本所吾妻橋」駅から徒歩約8分

東京メトロ銀座線、都営地下鉄浅草線「浅草」駅から徒歩約10分

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日、毎月第4火曜日（休館日が祝日の場合は翌平日）

入館料：個人100円、団体（20人以上の場合）1名につき80円、中学生以下と身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料

## 《ロゴマーク》

すみだ  
郷土文化  
資料館

SUMIDA  
HERITAGE  
MUSEUM



## 【デザイン】

同館の建物の垂直的な構造を特徴としてデザイン。柱を中心に多くの人が訪れ、文化を体験できる出入口というイメージをシンボル化。

## 【カラー】

構成する3色は同館の建物の主要な色である茶と黒に、近くに流れる隅田川をイメージした水色が使われている。

## 《展示概要》

### 企画展「すみだの歳時記 - 春から夏へ - 」

会期：令和5年3月29日（水）～令和5年8月6日（日）

会場：3階 企画展示室

内容：江戸・東京の春から夏にかけての年中行事や祭礼などの「すみだの歳時記」について、館蔵の浮世絵や寺社資料などの文化財を通して紹介。

### 特集展示「すみだの和歌と漢詩」

会期：令和5年3月29日（水）～令和5年6月18日（日）

会場：2階 展示室A

内容：墨田区の歌の歴史は、在原業平が平安時代前期に、隅田川で京を偲ぶ一首を作ったことに始まる。また、江戸時代中後期には漢詩も盛んになり、勝海舟も隅田川の漢詩を詠んでいる。展示では、隅田川にちなんだ和歌と漢詩を紹介。



《問合せ》すみだ郷土文化資料館 03-5619-7034

お問い合わせは午後5時までをお願いします。（広報広聴担当 03-5608-6220）